

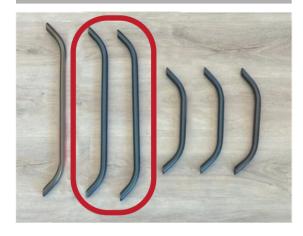




「TEAM MILAI」の挑戦を支えたオロルの技術!

外洋セーリングに使用される高性能ヨットの命綱ともいえる、デッキとキャビンをつなぐ部分にある「ハンドレール」に ORORU 処理®を施した専用パーツを採用、24 時間絶え間なく水しぶきをかぶる場所で50000 キロを走り抜き、表面に一切腐食なくクルーの信頼を勝ち取りました。

【試験品(ハンドレールbefore)ORORU処理®】



試験目的:

二人乗りヨットによる世界一周レース「GLOBE 40」に参戦した「MILAI 101」号のデッキ上にORORU処理®を施したハンドルを設置し腐食の有無を確認する。(目視)

設置個所:

行程上毎日恒常的に波をかぶり、一日中海水でウェットな状態に さらされる場所。

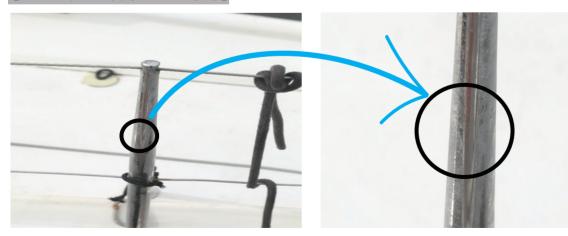
【試験品(ハンドレールafter) ORORU処理®】

ネジ部未処理の部分は錆びついているもののORORU処理®部分は 腐食見当たらず色調の変化も無し。





【ORORU処理®以外のステンレス状態】 所見:白色斑点が見られ表層が酸化し錆びが発生している。



今回の暴露試験から ORORU 処理 ® における耐食性は CASS 試験に示されるような高耐食を実現できると判断しました。



